

「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」 認定プレート・ご朱印スタンプ贈呈式を行いました！

一般社団法人アニメツーリズム協会主催の「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」にアニメ映画『私に天使が舞い降りた！ プレシャス・フレンズ』の舞台として長瀬町が新規認定されたことを記念し、同協会の鈴木則道専務理事より認定プレート及びご朱印スタンプが贈呈されました。

この認定は、毎年、日本各地のアニメゆかりの地が、国内外のファンにとって特別な訪問先となることを目的に選ばれるものです。

贈呈された認定プレートとご朱印スタンプは、全国のアニメファンと長瀬町とのつながりを感じられるスポットとなるよう長瀬町観光情報館に設置しています。



贈呈式の様子



認定プレート及びご朱印スタンプ設置状況

【12月9日】

高齢者叙勲 瑞宝双光章受章

さいとうひろし
齊藤博氏が、教育の振興に貢献された88歳の方に贈られる高齢者叙勲で瑞宝双光章を受章しました。

齊藤氏は、昭和35年4月から平成9年3月までの37年間にわたり、公立小中学校の教諭をつとめられ、平成5年からは小学校長として学校教育の振興と充実に尽くされました。

退職後は、社会教育指導員、社会福祉協議会評議員等を歴任し、教育行政や地域の発展、地域福祉の向上に尽力されました。

これらの功績が認められ、栄えある受章となりました。

【12月9日】



町長から勲記を伝達された齊藤博氏(写真左)

25

町長コラム

毛蟹の話



独身時代、旅行が大好きで姉や友達と度々出掛けました。日本交通公社発行の時刻表を丹念に調べ、スケジュールを組む作業はこの上ない至福の時間でした。あれはたしか昭和43年だったと思います。女二人の気儘旅に北海道へ10日間行きました。場所は忘れてしまいましたが、丁度屋になり昼食を市場でしようと思いましたが、たぶん地元の人に教えていただいたのだと思います。そこは蟹だけを扱う市場でした。値段を見てびっくり、なんと毛蟹けずみにが一杯500円なのです。当然一杯ずつ買い求め昼食。そのおいしかったこと。忘れられない味として今も残っています。あれから半世紀、毛蟹は高嶺の花となりました。今、家族や友人にその話をすると皆半信半疑。あまり話題にしなくなりました。ところがある日のこと、新聞を読んでいたら読者の投稿の中に500円の毛蟹の話が載っていたのです。その方は私と同学年の男性で、北海道のお婆さんの家に泊まりに行くと、お婆さんが500円の毛蟹をバケツ一杯買ってきてくれて腹一杯食べた、あの時代が懐かしいと綴っていました。時代を共有する人が居たことに大変感銘したのは言うまでもありません。今漁業は年々漁獲高が減り続け大変だとの話が聞かれます。庶民の魚として親しまれてきたサンマやスルメイカが私達の口に入りづらくなりました。一次産業の行く末を多くの方々心配しています。

感謝

「星うるむ 一夜もあらず 冬早」

長瀬町が生んだ女流俳人 馬場移公子